

# 浸水深マップ

まつくまいけ とっくりいき  
松熊池・徳利池

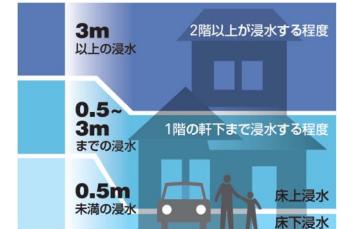
## 避難経路の安全性

- 特に危険な区域（ため池堤防）
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 通行は危険
- ひざ下(0.5m未満)が浸水 通行には注意が必要

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために松熊池・徳利池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

この地図では、浸水の深さを示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

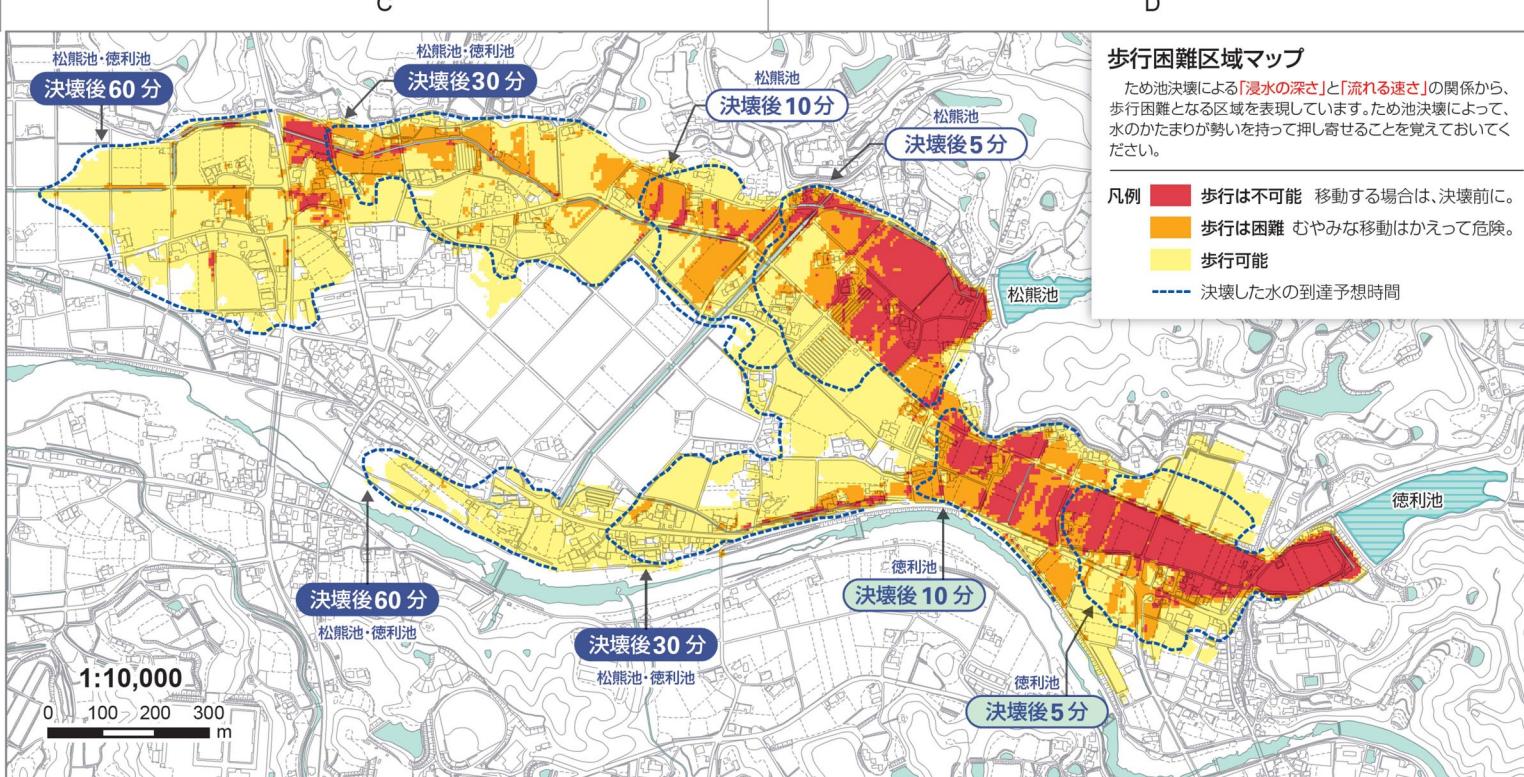
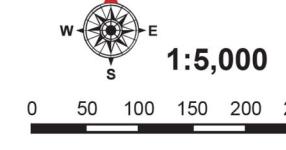
## 浸水の深さ



\* ため池決壊時に使用できない可能性がある避難所があります。

## 凡例

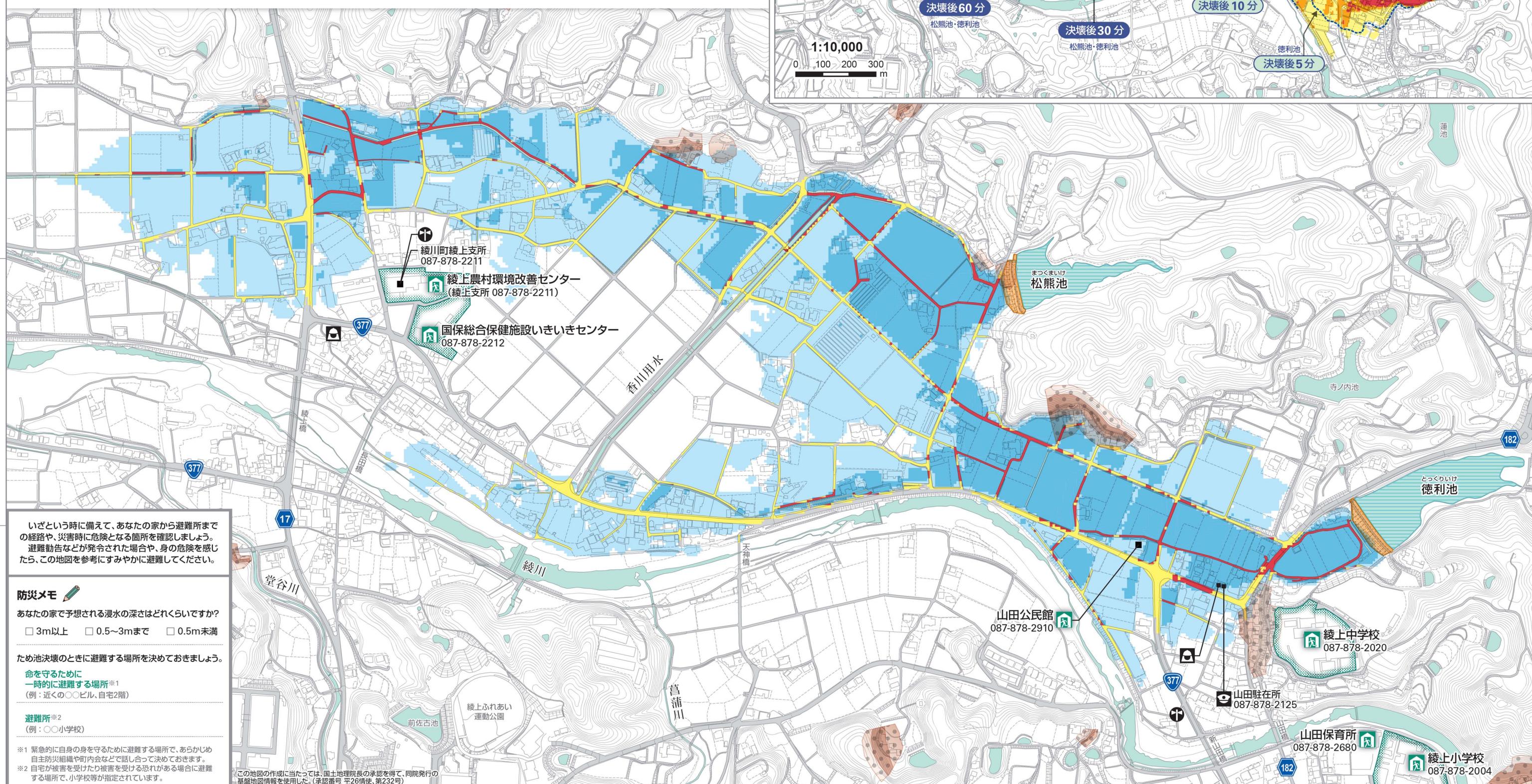
- 避難所(建物)
- 避難所(敷地)
- 駐在所
- 消防屯所
- 防災行政無線(スピーカー)



## 歩行困難区域マップ

ため池決壊による「浸水の深さ」と「流れる速さ」の関係から、歩行困難となる区域を表現しています。ため池決壊によって、水のかたまりが勢いを持って押し寄せることを覚えておいてください。

- 歩行は不可能 移動する場合は、決壊前に。
- 歩行は困難 むやみな移動はかえって危険。
- 歩行可能
- 決壊した水の到達予想時間





# ため池ハザードマップ【保存版】

まつくまいけ とっくりいけ  
松熊池・徳利池

RESERVOIR HAZARD MAP



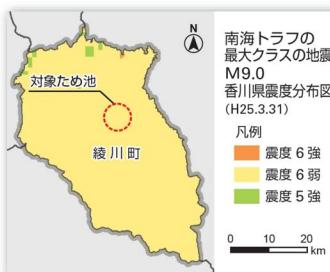
## ため池決壊について知ろう

### ▶ため池決壊の原因（地震と大雨）

#### 地震

本マップの対象たため池周辺では、南海トラフの最大クラスの地震によって震度6弱の揺れが予測されています。

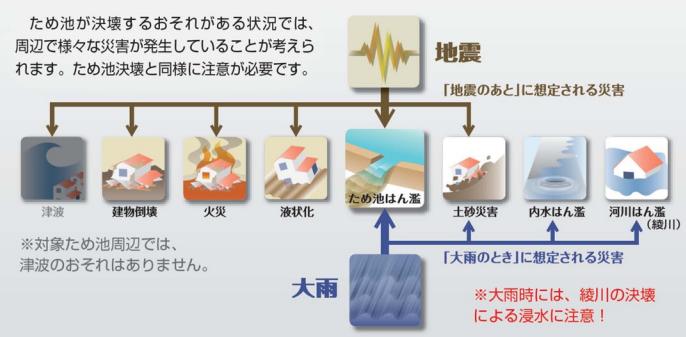
また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。



#### 大雨

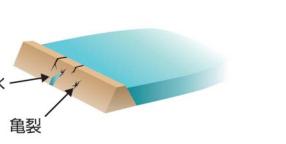
集中豪雨や長雨によって、ため池の水位が上昇することで、ため池決壊のおそれがあります。

#### ①ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

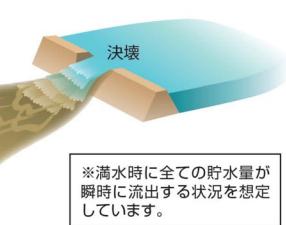


### ▶ため池決壊の起こり方と、その被害

①南海地震や直下型地震で、堤防が破損する。  
(地震同様に、大雨の際にも堤防が破損するおそれがあります。)



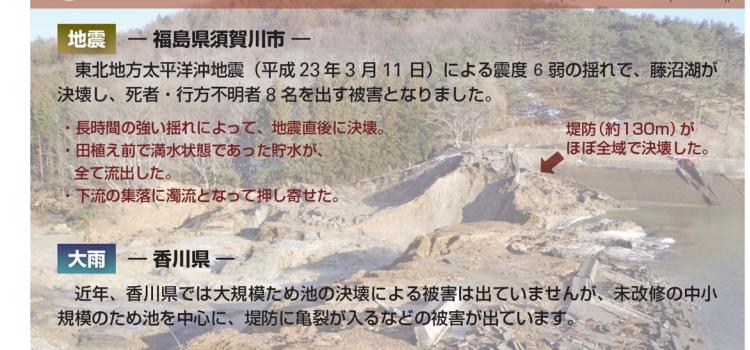
②破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壊」



③ため池決壊による被害

- 大量的な水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 山津波、内陸部における津波とも呼ばれています。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畠は土砂に埋まります。
- ※満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

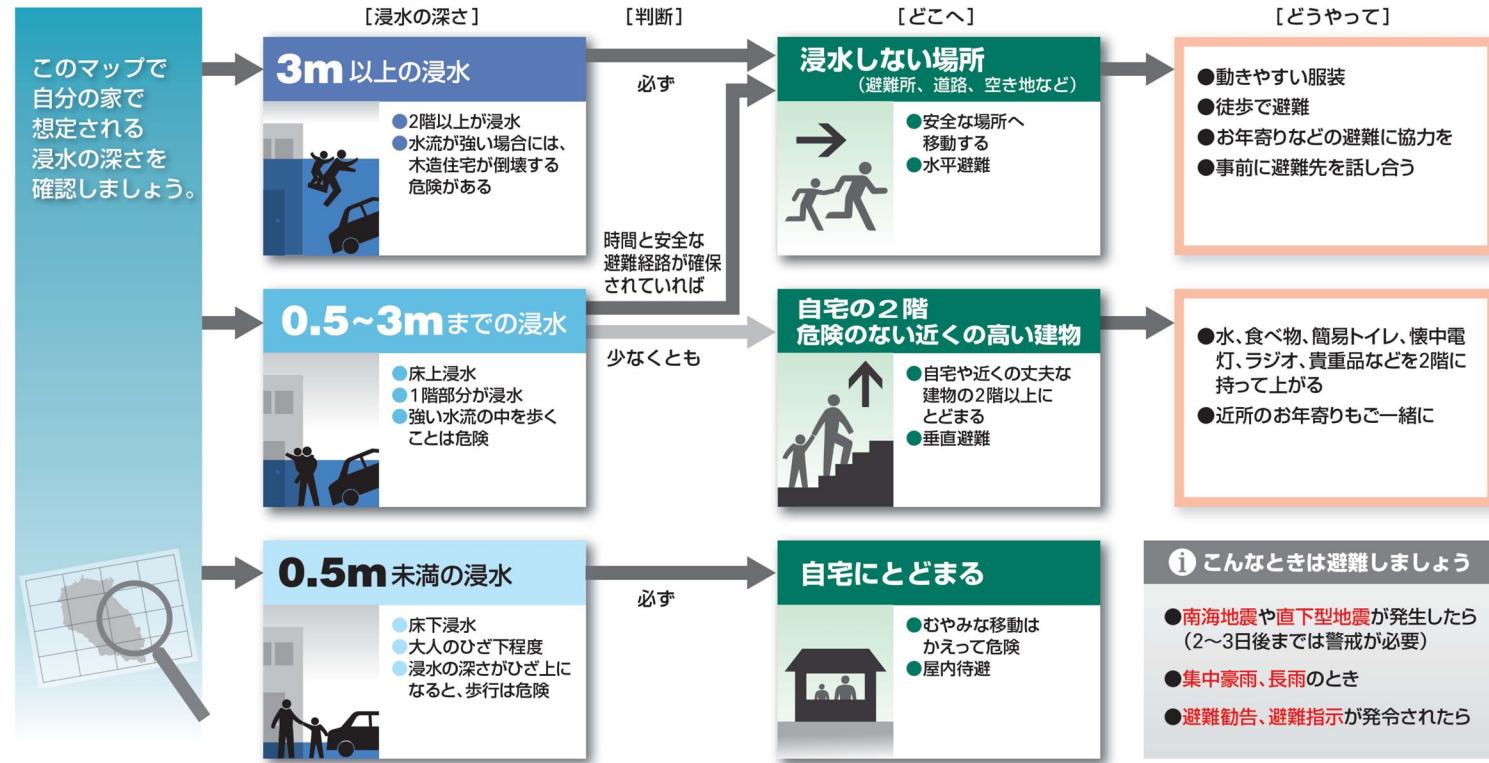
#### ① 災害事例



# ひなん 状況に応じた避難をしよう

### ▶ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ 命を守るためにの基本行動

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。いざというときに、どのように行動するのか、家族や地域で確認しましょう。



#### i こんなときは避難しましょう

- 南海地震や直下型地震が発生したら（2~3日後までは警戒が必要）
- 集中豪雨、長雨のとき
- 避難勧告、避難指示が発令されたら

## よ 町からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう

### ▶避難情報を入手するときの注意事項

#### 地震のあと

被災状況（防災行政無線の故障、広報車の通行不可、停電など）により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。

そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に自体に対応しましょう。

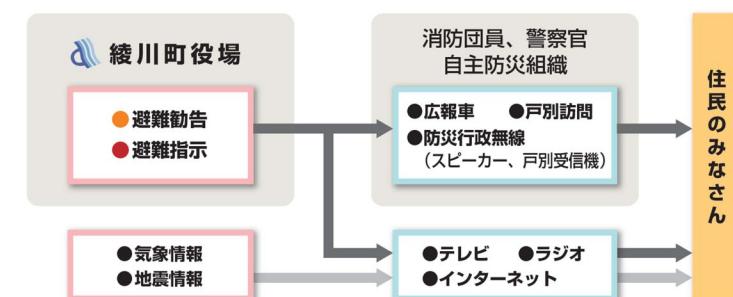
#### 大雨のとき

大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災行政無線や広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくいう場合があります。

テレビやラジオなどから自主的な情報収集を心がけましょう。

### ▶避難情報の伝達経路と内容

避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。また、避難情報には、緊急度に応じて2つの種類（避難勧告・避難指示）があります。



#### ①あらかじめ非常持出品を準備しましょう



避難情報の種類	呼びかけ（例）	みんなのとるべき行動
●避難勧告	○○池の堤防が決壊するおそれがあります。避難を始めてください。	●身の安全を確保し、家族や近所で助け合いながら、 <b>あわてず、すみやかに避難してください</b> 。
●避難指示	○○池の堤防が決壊する危険があります。ただちに避難してください。	●既に危険が差し迫って避難が困難な場合は、自宅の2階や近くの高い建物へ避難してください。